

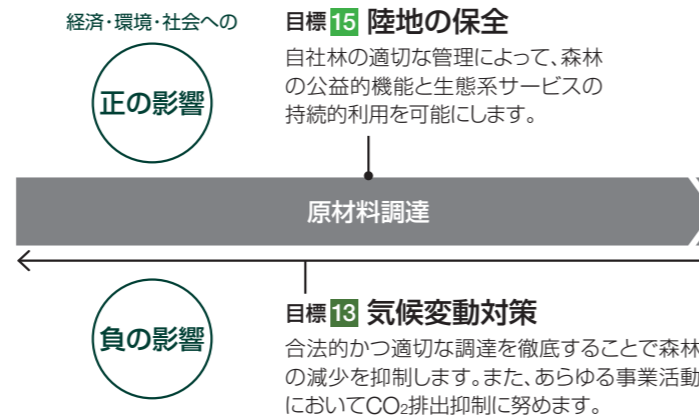
# 価値創出フローと社会的課題

## 社会の持続可能な発展に向けて

日本製紙グループはバリューチェーンにおいて下表のような社会的課題に取り組んでおり、これらの課題の中から重要課題(マテリアリティ)を特定しています(→P.14)。

持続可能なビジネスモデル(→P.8-9)を背景に当社グループがその達成に向けて大きく貢献できる、あるいは事業活動における負の影響を最小化できるSDGsは右の通りです。経済・環境・社会への影響から当社グループと特に関わりが深いSDGsであり、重要課題(マテリアリティ)と重なります。研究開発においても中長期の視点でこれらを意識していきます。

### 日本製紙グループの重要課題に関わりの深いSDGs



### 目標 **7 9 12** 環境と社会に配慮した製品の提供

再生可能なバイオマス資源をさらに活用する技術革新を通じて、環境の保全と資源の持続性向上に貢献します。



### 目標 **6 15** 水と衛生、陸地の保全

水質・大気・土壌への負荷物質の排出を抑制することで、自社の生産活動にともなう環境汚染を防ぎます。

### 目標 **3** 健康的な生活

働く人々の病気・けがを防ぐため、職場の安全施策や教育・啓発に万全を期しています。

## バリューチェーンにおける社会的課題への取り組み

重要課題(マテリアリティ)

社会的課題	ISO26000の中核主題	掲載ページ	バリューチェーンにおける取り組み				
			原材料調達	生産	輸送	販売・使用	分別・回収・リサイクル・廃棄
経営に関わる責任	組織統治、公正な事業慣行	P.15-22	コーポレートガバナンス、CSRマネジメント、コンプライアンスの徹底、適切な情報開示、個人情報管理、 <b>ステークホルダーとの対話</b> など				
森林経営・原材料調達、環境に関わる責任	環境	P.23-46	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な原材料調達 (認証材の調達推進、合法性の確認、海外植林の推進、自社林における森林認証取得、国産材の活用など)</li> <li>自社林の保護育成 (生物多様性の保全)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の低減 (水質・大気・廃棄物・騒音・振動・臭気・化学物質など)</li> <li>環境と社会に配慮した製品の開発・生産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積載効率の向上 (モーダルシフトの推進)</li> <li>輸送距離の短縮 (直接納入の推進、物流倉庫の再編成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙の回収・利用推進 (古紙処理能力の強化、未利用古紙の利用拡大、古紙パルプの品質向上)</li> </ul>	
お客さまに関わる責任	消費者課題	P.47-52		<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の安定供給</li> <li>品質・安全性の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境と社会に配慮した製品の提供</li> <li>製品の安全性向上</li> <li>お客さま満足の追求</li> <li>製品に関する適切な情報開示</li> <li>お客さま相談、ご意見対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまとともに進める古紙の回収推進 (リサイクル推進団体支援、古紙回収施設設置など)</li> </ul>	
人権と雇用・労働に関わる責任	人権、労働慣行	P.53-60	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤーの人権対応状況の確認</li> <li>自社の森林経営での人権尊重</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権を尊重した雇用</li> <li>人材の多様性確保</li> <li>人材育成</li> <li>労働安全衛生、防災</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸送時の安全確保 (交通安全の推進)</li> </ul>		
地域・社会への責任	コミュニティへの参画およびコミュニティの発展	P.61-65	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外植林地における地域・社会との共生 (雇用創出、教育支援、文化の保全、地域環境への貢献、生物多様性の保全、安全防災の推進など)</li> <li>自社林を活かした地域・社会への貢献(環境教育など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産拠点周辺との共生 (雇用創出、教育支援、地域環境への貢献、文化の保全、安全・防災の推進など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸送にともなう影響の低減 (交通安全の推進、低公害車の導入、騒音対策の推進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とともに進める古紙の回収推進</li> </ul>	